



地域運営学校 「学ぶ・鍛える・思いやる」

自主の庭

八王子市立城山中学校 学校だより

令和7年9月 第6号

校外学習・修学旅行のしおりから

校長 田野倉 教泰

【第1学年】

約1ヶ月の夏季休業期間がありましたが、城山中学校へ入学してから約半年がたちました。

では、あなたはこれまでの間に「城山中学校」の生徒として、どのような学びがありましたか、何を鍛えてきましたか、何に対して思いやってきましたか。

そして、今回の校外学習では、あなたが約半年間積み重ねてきたこれらの学びや育ちが試されます。施設見学をとおして、これからの学習活動充実に向けたきっかけにします。いろいろ困難場面がありますが、たくましく乗り越えます。あなた自身と仲間を大切にしながら、班でまとまって活動します。校外へ出かける「ワクワク」「ドキドキ」もありますが、それもエネルギーにして、なおかつ小学校6年間の経験も活かしながら「城山中学生らしさ」を追求してください。

始業式で『挑戦 機動力 積極性 「まず、やってみる」「失敗から学ぶ」』という話をしましたが、城山中学校の教育目標を表現するために求められる要素です。

さらに、ともに学校生活を送っている第1学年の先生方は、今回の校外学習の目的にあるように、あなたに対してたくさんの期待を込めています。

そういった意味からも、私はあなたが今回の事前学習から事後学習までを含めた校外学習に臨む姿をととても楽しみにしています。

頑張れ、城中1年生

【第2学年】

中学校第2学年の後期というと、中学校生活の折り返しになります。例えば生徒会活動では中心的存在になる等、第3学年に向けての具体的な準備も始まっています。ぜひ、「奮い立つ意気 湧く力」の気概をもって、学校生活の積み重ねをとおして学び、身に付けた力を試し、失敗を恐れず挑戦をしてほしいと願います。

また、先日の認証式では、あえてやり直しをしてもらう場面をつくりました。これは、人と人との関わりのなかでとても大切なことは、実は当たり前のことであるということであり、指摘や指示をされなくてもできるようになってほしいと願っているからです。

さて、第2学年の先生方は、今回の校外学習の目的として次の3点を挙げており、それぞれの達成に向けてあなたと日々の学校生活を送っています。

- 1 学び、知識を深める
- 2 協力する姿勢を身に付ける
- 3 公共心を養う

そして、私からは「協力する姿勢を身に付ける」ことについて、次の視点からその達成をお願いします。

- 様々な考え方をもつ仲間と、より円滑に活動をするために必要なことを理解する
- 意見の食い違いを調整し、それぞれが納得のいく意思決定をする

頑張れ、城中2年生

【第3学年】

今年度の修学旅行の実施に際し、第3学年の先生方が設定した目標をぎゅっとまとめると、以下の4項目になります。

- 1 日本文化への理解を深める
- 2 互いに協力する
- 3 公共の場での振る舞いや公衆道徳について学ぶ
- 4 日常の学校生活を見つめなおす契機とする

これは、事前学習・当日・事後学習の取組を含めて、あなた自身やあなたが仲間とともに城山中学校で築き上げてきた学びの成果を試すための視点になってきます。ぜひ、積み重ねてきたことを発揮して成長を実感し、それでもうまうまいなかったことは来年3月までを達成期限とした課題として改善に取り組むきっかけにしてください。

さて、今年は戦後80年の節目の年になります。そして、戦争体験を明確な記憶から言語化することのできる世代の方々が少なくなっているという現状から、私たちはこの先の平和な社会の実現に向けて記憶を継承していく立場であるということは、社会科でも学んだところです。また、戦争に関連する資料等を見ていると、「先の大戦（さきのたいせん）」という言葉がつかわれていきます。この言葉は、太平洋戦争終結後80年の間、私たちの国では戦争が起きていない状態が続いているということです。

ここで、あなたに課題です。第1日の出発チェック後、「JR中央線高尾駅の2番線ホーム屋根支柱の31番柱」の確認をしていってください。さらに、京都御所に行く班は、「蛤御門」の確認もしてください。時代の違いこそあれ、実際に見ることで「ここで何があったのか」ということを知ることができます。

はなしは「先の大戦」に戻りますが、京都では「先の戦（さきのいくさ）」という言葉を使うことがあります。そのいくさは「応仁の乱（約550年前の室町時代）」を指す場合があります。仏像をはじめ歴史的建造物の成立年代も含めて、京都という土地における時間軸の違いや歴史の積重ねを感じさせます。

内容が多方面になってしまいましたが、秋に実施する修学旅行は、中学校生活の総括に向けて個人や学年集団が進むべき方向を定める最後の機会になります。このことから、第3学年として、合意形成の過程や人間関係・連帯感の深まりを全力で楽しんでほしいと願っています。

頑張れ、城中3年生